

第17回科学技術交流フォーラム

太陽光エネルギー利用の未来

大規模太陽光発電システムに向けた技術開発の現状と展望

【開催趣旨】

科学技術交流フォーラムは、東京大学産学連携協議会会員企業等を対象として、東京大学研究者が研究成果や「知」を発信する「産学出合いの場」です。

本フォーラムが産学連携の契機となり、近未来の社会・経済にとって「解を出すべき課題」に対して、専門分野・産業界を横断したチームが形成され、産学連携活動を企画・実行し、その課題解決が図られることを目指しています。

今回の第17回フォーラムでは、大規模太陽光発電を取り上げます。気候変動を誘発せず、資源制約が無く、しかも環境汚染をもたらさない全く新しいクリーンエネルギーシステムの創出は、21世紀、人類に課せられた最大のテーマですが、そのためには、太陽光などの自然エネルギーを大規模に活用し、発生したエネルギーを世界の隅々に輸送する技術の開発が必須となります。東京大学では、この人類共通の最重要課題に、産業界と総合大学による共創的力を結集して取り組むことを提案します。

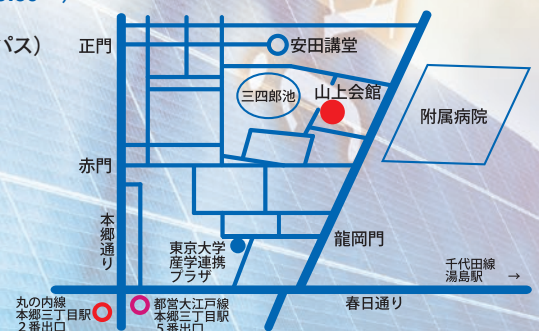
本フォーラムでは、大規模太陽光発電システムに向けた技術開発の現状と将来を、各分野の第一線で活躍している産学の研究者がわかりやすく解説し、今後の産学連携の在り方について意見交換をはかります。

2009年12月17日(木) 13:00~18:20 (交流会18:30~)

【フォーラム】 東京大学 山上会館 2階 大会議室 (本郷キャンパス)

【交流会】 東京大学 山上会館 地階 001会議室

- 主催 東京大学産学連携協議会運営本部 (東京大学産学連携本部内)
- 参加定員 150名/事前申込制 (申込はホームページで、先着順)
- 参加費 フォーラム:無料/交流会:3,000円
- 申込締切 12月11日(金)
- 申し込み& 問い合わせ先 東京大学産学連携協議会運営本部事務局 (東京大学産学連携本部内)
<http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/kyogikai/forum/>



太陽光エネルギー利用の未来

大規模太陽光発電システムに向けた技術開発の現状と展望

13:00~13:05
開会挨拶

影山 和郎(東京大学 産学連携本部 教授・本部長)

13:05~13:10
挨拶

松本 洋一郎(東京大学 理事(副学長))

13:10~13:40
講演 1

「石油代替としての太陽光エネルギーの位置づけと資源制約」

茂木 源人(東京大学 大学院工学系研究科 准教授)

13:40~14:10
講演 2

「ギガワット時代のCIS系薄膜太陽電池」

榎屋 勝巳(昭和シェル石油株式会社 ソーラー事業本部担当副部長 兼 昭和シェルソーラ株式会社 取締役技術戦略企画部長
東京大学 サステイナビリティ学連携研究機構 客員教授)

14:10~14:40
講演 3

「効率50%も照準に入った集光型太陽電池の研究開発動向」

中野 義昭(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

14:40~15:10
講演 4

「高効率量子ドット太陽電池の現状」

岡田 至崇(東京大学 先端科学技術研究センター 准教授)

15:10~15:25
休憩

15:25~15:55
講演 5

「エネルギー・ハーベスティングに向けた二次電池開発」

宮山 勝(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

15:55~16:25
講演 6

「大型蓄電池技術における材料開発のインパクト」

山田 淳夫(東京大学 大学院工学系研究科 教授)

16:25~16:55
講演 7

「システムインテグレーターの役割と今後の戦略」

稲葉 道彦(株式会社東芝 電力流通・産業システム社 太陽光発電システム事業推進統括部 技監)

16:55~17:25
講演 8

「グリッド連系と太陽光発電システム」

村松 哲郎(シャープ株式会社 執行役員 ソーラーシステム開発本部 本部長)

17:25~17:55
講演 9

「再生可能エネルギーの大規模導入を支えるスマートグリッド
— 集中／分散エネルギーマネジメントの協調 —」

荻本 和彦(東京大学 生産技術研究所 特任教授)

17:55~18:15
今後の展望

「太陽光エネルギー利用の未来」

中野 義昭(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

18:15~18:20
閉会挨拶

寺澤 廣一(東京大学 産学連携本部 特任教授・産学連携研究推進部長)

18:30~20:30
交流会